

## 2010年度（平成22年度）第3回福山市入札監視委員会会議概要

### 1 会議名

2010年度（平成22年度）第3回福山市入札監視委員会

### 2 開催日時・場所

2011年（平成23年）1月27日（木）午後3時～午後4時  
福山市役所議会棟3階 第5委員会室

### 3 出席委員

中山委員，西原委員，坂本委員，神原委員

### 4 出席した職員

建設管理部長，土木部長，神辺支所長，建築部長，水道局業務部長，水道局工務部長，建設政策課長，契約課長，技術検査課長，道路維持課長，神辺建設産業課長，営繕課長，水道局経理課長，水道局配水課長，水道局施設整備課長

### 5 会議の概要

#### (1) 2010年度（平成22年度）の契約状況等について

契約課長から次のとおり説明を行った。

昨年12月末までの福山市発注分の入札件数は769件で，その落札率は79.9%，ただし，大規模工事である（仮称）福山市汚泥再生処理センター建設工事を除くと84%となり，水道局発注分は149件で，84.2%であった。福山市発注分の落札率が2008年度から上昇した要因としては，2005年度から段階的に公募型指名競争入札や条件付一般競争入札の対象を順次拡大したことにより，競争性が向上したものの，一方では，過度な低価格での受注による建設労働者や下請業者へのしわ寄せなどの懸念から，2007年度に低入札価格調査制度を廃止し，最低制限価格制度に一元化したこと，2008年度に企業の健全経営に配慮する観点から最低制限価格の算定基準の見直しを行ったこと，また，2008年末からの未曾有の経済危機に対応し，企業の健全経営の観点から2009年度において最低制限価格の見直しを行い，更には，今日の厳しい経済状況や雇用情勢に対応するため，地元企業の更なる支援措置として，昨年3月10日から最低制限価格の更なる見直しを行ったことによるものと考えている。全体では，落札率は84%で，昨年度と比べ1.4ポイント上昇しており，最低制限価格の見直しにより，本年度の落札率は昨年度より上昇するものと考えている。

#### (2) 抽出案件の審議

- ア 信号機移設工事（手城三吉線）
- イ 道路災害復旧工事（東中条18号線）
- ウ 福山市西部清掃工場定期整備工事

- エ 配水管添架工事
- オ 急速ろ過池築造工事

アからオについて、契約担当課長及び当該工事担当課長が、それぞれの工事について説明を行った。

(3) 入札及び契約手続の運用状況等についての報告

指名除外措置運用状況について、契約課長から取りまとめて報告を行った。

(4) 次回委員会の開催日時について

2011年（平成23年）5月中旬を目途に事務局で調整する。

(5) 次回委員会で審議の対象とする工事の抽出方法について

次回の事案の抽出は、2010年（平成22年）12月から2011年（平成23年）3月分を対象とし、中山委員が担当する。

6 発言の趣旨

主な質疑応答は、次のとおりである。

抽出案件の審議

ア 信号機移設工事（手城三吉線）について

Q1 今回の建設局の抽出対象工事のうち、落札率が94%と最も高かった案件である。同案件の落札者は同種工事の別の案件でも落札率90%と高い落札率で落札しており、入札条件の妥当性及びかかる結果となった要因を知りたい。

A1 信号機の移設について、道路交通管理者の広島県警察本部に協議を行ったところ、施工業者は「広島県警察本部の信号機建設指名業者」の中から選定することなどの条件を提示され、該当する市内業者は2社であり、競争性確保の観点から、入札参加者を広島県内に本店、支店又はそれに準ずるものを有する者としたものである。入札の結果については、交通量が非常に多く、電線類が輻輳するなどの施工条件、工事場所などの理由もあったのではないかと考えている。

Q2 広島県内の登録業者は、何社であるのか。

A2 県警本部登録業者は19社である。

イ 道路災害復旧工事（東中条18号線）について

Q3 今回の建設局の抽出対象工事のうち、有効な入札者が1者となったもののうちで、落札率が92.9%と最も高かった案件である。入札参加者数20社のうち19社が失格するなかで1社のみ高額で落札した要因を知りたい。

A3 本工事は災害復旧工事ではあるが、施工が比較的容易であることなどの理由により、入札参加者は、高い受注意欲から多くの者が最低制限価格付近で入札を行ったが、本工事が他の工事と比べ、最低制限価格の基準となる価格が若干低かったこと、最低制限価

格の調整の影響などにより、多くの者が結果的に最低制限価格を下回り、失格となったものと考えている。

Q 4 1社だけ入札金額が高いが、受注意欲はあったのか。

A 4 落札したいとの意欲はあったと思うが、落札者の住所と現場との距離があることが理由の一つではと考えている。

Q 5 入札者20社中、神辺町の業者数は何社であったか。

A 5 20社中13社である。

Q 6 このような結果となることはあまりよろしくないと思われるが、どのように考えているのか。

A 6 1者となる入札については、他都市の状況をみても対応が難しいところがあり、今後の状況をみていきたい。

#### ウ 福山市西部清掃工場定期整備工事について

Q 7 今回の建設局の抽出対象となった随意契約方式の工事のうち、最も契約金額が高かった案件である。定期的な発生が見込まれる定期整備工事について、随意契約により落札率99.1%で落札された案件である。随意契約方式の場合には、一般に条件付一般競争入札方式より高い落札率となっているが、水道局管轄の案件に86.7%と一般競争入札方式に準じた落札率となっている案件もある。ついては、随意契約方式における予定価格の設定方法及び随意契約方式における落札率の意義を知りたい。

A 7 この定期整備工事については、修繕の緊急度の高いものから整備の優先順位を定め、実施しているところであり、設計価格は、整備工事項目毎に一般的な材料は建設物価等の単価を採用し、特殊品や特殊工事については、業者から徴収した見積書を基に他の同じ施設との価格比較や従前に改修した実績等により単価を精査し決定している。この設計価格を基に予定価格を設定しているが、今回の契約において、当該業者が1回目の見積金額では予定価格を上回ったため、見積書を再度提出し、2回目で予定価格以内となったものである。随意契約においては、今回の工事のように特殊品を使うものや特殊な工事においては、業者の見積もり等を参考に積算するため、落札率は比較的高いものとなっている。

Q 8 本件のように当初の施設的设计施工について一般競争入札としても、その後発生する定期整備工事は随意契約とならざるをえないものと思われる。その場合、当初の施設的设计施工の入札に際してその後の整備工事等の費用についても考慮されているのか。

A 8 当初施設的设计施工に際しての維持管理費の考慮について、以前は、当該施設的设计施工にあたり、機器の機能・性能と工事価格を基に業者決定を行っていたが、建設後の維持管理費用も重要であることから、今年度発注した(仮称)福山市汚泥再生処理センター建設工事などにおいては、当初の工事価格以外に修繕も含めた維持管理費用や運転管理に関する費用など、当該施設の工事価格以外の要素も考慮に入れ、総合評価方式により契約することとしている。

Q 9 予定価格の設定方法は、一般競争入札と同じか。

A 9 考え方は同じである。

Q10 一般競争入札では落札率が下がるのだが、随意契約では100%に近いのはなぜなのか。

A10 このような随意契約では、特殊なものが多いため、積算基準がないものも多く、施工業者から見積を徴し、従前のものや他の類似施設等と比較するなどして積算しているため、結果として落札率が高くなる場合が多い。

#### エ 配水管添架工事について

Q11 今回の水道局の抽出対象工事のうち、有効な入札が1者となったもののうちで落札率が93.5%と最も高かった案件である。予定価格も6,737万円と比較的高額であったにもかかわらず、入札参加者自体が1社にとどまった要因を知りたい。

A11 本工事は、県発注工事の橋梁部分を製作している向島町の工場に赴き、その橋梁部分の製造工程に合わせ様々な制約を受けた中での施工ということで、コスト的にも高くつき、また、大変難しい工事で、高い技術力や経験も必要となることから、このような結果になったものではないかと考えている。

Q12 このような同種工事はこれまでにあったのか。

A12 今回の工事発注が初めてである。

Q13 入札参加要件を満たす業者数は何社かあったのか。

A13 十数社確認している。

#### オ 急速ろ過池築造工事について

Q14 今回の水道局の抽出対象工事のうち、契約金額6億7,307万円と最も落札金額が高かった案件である。入札参加者数が19社、失格数が11社と競争がなされているにもかかわらず、落札率が87.5%と比較的高くなった要因を知りたい。

A14 配水管布設工事を中心とした水道施設工事は、完成度の高い材料を購入し、布設・接合・組み立てを行う工事が主体となり、この材料費が直接工事費の半分近くを占めることが一般的で、材料費については、流通経路や流通方法などを効率化することで単価を抑えることが可能であるため、落札率は低くなる傾向がある。

一方、本工事は、鉄筋、型枠を組み立てた後コンクリートを打設するといった工程を繰り返し、土木構造物を築造する工事であり、材料費の割合が少ないことから最低制限価格の基準価格の設定も比較的高くなり、このような結果になったものと考えている。